

市民意見募集の実施結果について

「子安小学校移転整備事業」（案）に関して、市民意見を募集いたしましたので、その実施結果をお示しするとともに、主なご意見とご意見に対する横浜市の考え方を添えてご報告します。子安小学校の整備を望む趣旨のご意見でしたので、事前評価調書は修正なしとし、確定しました。

1 実施結果

意見募集期間	平成26年11月27日（木）から平成26年12月26日（金）まで
意見提出方法	電子メール、ファクシミリ、郵便
公共事業事前評価書（案）の公表場所	市民情報センター、神奈川区役所広報相談係、神之木地区センター
主な周知方法	記者発表、教育委員会ホームページ、広報よこはま12月号

2 実施結果

意見提出者数	25件
提出方法	郵便3件、電子メール14件、FAX8件

(1) 移転整備事業自体に関するもの

【主な意見】

- ・移転事業に賛成 ・児童の増加が顕著、学習環境の悪化が想像できる
- ・子どもたちには十分な教室、施設と広い運動場が必要 ・広い場所に移転するのは望ましい
- ・グラウンドが狭く何時事故が起きてもおかしくないと感じていた
- ・住民の意見に耳を傾け、スピード感を持って進めて欲しい
- ・現在、思いっきり遊んだり運動できる環境ではない ・校庭でのびのび運動をさせてあげたい
- ・移転後は大通りから外れるので良い環境になる ・地元の声に根差した学校づくりを進めて欲しい
- ・子どもや父兄、OBにとって学校の場所が変わるのはショック
- ・地域でくらししている子どもや、住人の負担をこれ以上増やさないと観点で事業を進めて欲しい

(2) 施設等に関するもの【校舎・校庭・周辺への影響・隣接地等】

【主な意見】

- ・校舎：高層化、耐震性を高く、アレルギー対策、公共図書館や郷土資料館等の併設、等
- ・学校全体：騒音問題、子安小の学校遺産の保存
- ・校庭：広く、砂埃対策 ・予定地の樹木の有効利用

【本市の考え方】

- ・校庭や校舎については、文部科学省の施設整備指針も踏まえながら、いただいたご意見の趣旨を参考に今後検討してまいります。

(3) 防災に関するもの【避難所等】

【主な意見】

- ・小学校が移転されることで地域防災拠点が確保される ・広域避難場所を残して欲しい
- ・学校を避難場所として使用して欲しい

【本市の考え方】

- ・地域防災拠点は子安小学校の移転と共に移転する予定です。
- ・広域避難場所については、いただいたご意見の趣旨を参考に、関係機関と調整してまいります。

(4) 通学安全に関するもの

【主な意見】

- ・歩道橋苦情が出ているので、スロープやエレベーター等の整備や改良をして欲しい
- ・周辺道路の安全対策や横断歩道、歩道橋のユニバーサルデザインも検討して欲しい
- ・通学の安全面を考えて欲しい ・予定地周辺は子供の安心安全面で不安がある
- ・産業道路から学校までの交差点に信号機を設置して欲しい ・通学路の整備が必要

【本市の考え方】

- ・移転に伴う通学安全対策については、地域や保護者の皆様の意見を十分に伺いながら、子安小学校のスクールゾーン対策協議会と一緒に検討してまいります。

(5) 子育てに関するもの【保育園・学童・キッズクラブ・はまっ子等】

【主な意見】

- ・移転を機にキッズクラブを設置して欲しい ・はまっ子、学童の問題も気になる ・学童保育及び保育園の設置 ・学校施設を放課後学童保育に活かして、学童保育を充実させて欲しい

【本市の考え方】

- ・いただいたご意見の趣旨を関係機関に伝えてまいります。

(6) 跡地に関するもの【現子安小学校】

【主な意見】

- ・様々な活用プランが出てくるものと期待 ・地域活性化も含め柔軟な対応をして欲しい
- ・地域住民のためになる商業施設や病院、公園緑地等を希望する
- ・駅前再開発と同時に検討することが重要 ・十分に意見交換をしながら進めて欲しい
- ・跡地に記念碑等を建てるのもいいのではないかと
- ・高層マンションが建設されたら同じではないかと ・マンションが建つと聞いている
- ・マンションを誘致するのか ・用途地域の変更等便宜を図ることのないようにして欲しい
- ・子安小移転後も駅前エリア全般で風俗施設等の規制をかけて欲しい

【本市の考え方】

- ・いただいたご意見につきましては、関係機関に伝えてまいります。

(7) その他【質問・意見】

【質問】 ・モデルルームの建っている場所も学校予定地なのか

【回答】 ・学校予定地ではありません。

【質問】 ・将来の児童数のピークはどう考えているのか

【回答】 ・平成26年度の義務教育人口推計では6年先の平成32年度までですが増加傾向にあります。また、試算した長期的な推計でも増加傾向で、平成32年度以降に約40学級をピークとし、この状態がしばらく続き、その後、ゆるやかに減っていくものと考えられます。

【質問】 ・通学区域の調整がなぜ行われないのか

・移転以外どのようなアイデアがあったのか

【回答】 ・通学区域の調整や現地建替も検討しましたが、抜本的な解決とはならず、特に現地建替は、工事中の学校運営に著しい支障が考えられるため、その方策はとらないこととしました。

【意見】 ・現校舎は存続し、新規校舎を計画地に建設することを望む

【回答】 ・長い間この地域のコミュニティの核としての子安小であったことから、分離新設するよりも近隣に移転整備し、これまでと同様に地域と一体となって児童を育むことが望ましいと考えました。なお、大規模な学校となっても児童指導に支障がない学校運営ができるよう努めてまいります。

【意見】 ・移転の際に大きく給食室を作り、近隣の中学校に配送する仕組みを試して欲しい

【回答】 ・平成26年12月に「横浜らしい中学校昼食のあり方」をまとめました。今後はこのあり方を踏まえ、中学校給食の充実に取り組んでいきます。

【意見】 ・浦島中との小中一貫校を設立することを検討して欲しい

・越境入学を不可能にして欲しい

【回答】 ・いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

【その他意見】

・高いマンションが建つのはもうたくさん

・地域に住む人にとっての原風景が50年、100年と末永く続くことを期待する